

## 事業報告書

(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

定款第3条に基づき、補体研究・調査、講演会・ワークショップなどの開催、機関誌・図書の発行などを行った。

### I. 学術集会、講演会等の開催

1. 第55回日本補体学会学術集会を新小倉病院・塚本浩氏を集会長として、2018年8月31-9月1日北九州国際会議場にて開催。
2. 第56回日本補体学会学術集会を埼玉草加病院・大澤勲氏を集会長として、2019年8月23日-24日にコンgresクエア日本橋にて開催。
3. 第57回日本補体学会学術集会を大阪大学微生物病研究所・村上良子氏を集会長として、2020年8月7日-8日に大阪府の千里ライフサイエンスセンターにて開催予定。

### II. 学会機関誌その他の刊行物の発行

1. 学会誌「補体」第55巻 第1号を2018年8月31日に発行。
2. 学会誌「補体」第55巻 第2号を2018年12月15日に発行。
3. 医療情報誌シュネラーのFOCUS「補体」シリーズへ日本補体学会から寄稿。  
第7回～第8回

### III. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 第55回日本補体学会学術集会において、第55回日本補体学会優秀賞を関根英治氏に授与。
2. 第55回日本補体学会学術集会において、第55回日本補体学会奨励賞を伊藤章吾氏に授与。

### IV. 関連学術団体との連絡及び協力

1. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法の推進に向けて、関連学会と協力。  
協議中・協議予定の学会
  - (1) 日本移植学会・日本臨床移植学会
  - (2) 日本腎臓学会
  - (3) 日本小児腎臓病学会
  - (4) 日本造血細胞移植学会
  - (5) 日本妊娠高血圧学会
  - (6) 日本免疫不全・自己炎症学会
2. 遺伝性血管性浮腫の急性発作に対するC1-インアクチベーター製剤の在宅自己注射保険適用の要望書を日本皮膚科学会、日本アレルギー学会と共同で、厚生労働省に提出。

#### V. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法向上の推進

1. 研究課題「新しい補体検査システムの構築による補体関連疾患の包括的登録と治療指針確立への展開」を推進。
2. 上記事業として、補体タンパク質検査、補体関連遺伝子検査を推進。補体タンパク質検査項目の新規整備を引き続き検討。
3. 「補体関連疾患に関する病態解明、それら疾患に対する新規診断方法および治療法の開発に関わる基礎研究、臨床研究」のテーマで、平成30年度委託研究を募集し、3名を採択。
4. アレクシオンファーマ合同会社と第一期事業を2019年4月30日終了し、2019年7月1日より第二期事業開始。
5. 補体検査全般の検査体制を充実させるため、CSLベーリング社と第三期事業を2018年7月1日開始し、2019年6月30日終了。第四期事業を2019年7月1日より開始予定。
6. 上記事業として、「遺伝性血管浮腫」に関する補体タンパク質検査、補体関連遺伝子検査を推進。

#### VI. 国際的な研究協力の推進

1. 2018年9月16日～9月20日までSanta Feで行われた 27<sup>th</sup> International Complement Workshop (ICW2018) に参加し、日本補体学会の検査プロジェクト発表及び情報収集。
2. 国際補体学会の外部精度評価 (External Quality Assessment 2018) が妥当性評価を行っているEQAの標準化研究に参加し、2018年11月7日付、妥当性評価書(Certificate)を受領。さらに、EQA2019にも参加し、2019年4月5日付、妥当性評価書(Certificate)を受領。

#### VII. 会議

1. 理事会を2018年7月から2019年6月まで3回開催。

#### VIII. その他

特になし